

附 122  
卷 父止



新鑄增補脈論口訣卷之五

醫家ノ必用



然則二怒レテ氣ノ順流セザル則ハ  
鬱結ス氣鬱結スル則ハ熱ス故ニ  
諸病皆挾セズト云フナシト  
ハ熱ノ多ク少アリ。表熱。裡熱アリ。  
上部ノ熱力。中部ノ熱力。下部ノ  
熱力。又ハ臟カ熱スルカ。腑カ熱ス  
ルカ。又ハ實熱力。虛熱力ノ分別等  
ハ脈ニテモ病ニテモヨク心得ヘキ也  
△先諸病ヲ告未則ハ病ノ付タル時ト  
日ヲ問テ子ヨリ巳ノ時ニテハ陽  
分ニ煩付ハ其病腑ニ有ヘシ是コソ

增補脈論卷之五

熱ヨリ起ルト心得ベシ。午ヨリ亥ノ  
 時テハ。陰分ニ病付ハ其病ニ臟ニ  
 アリト心得ベシ。是寒ヨリ發ルト分  
 別セヨ。是ニモ。内因外因ノ分別セ  
 ヲ。内因外因ノ事ハ。書ニ有ノ間  
 記スニ及ハス。此外、内因外因ト云フ有  
 病源候論ニ委シ  
 サテ次ニ病ノ起醒ヲ問テ。起醒  
 ノ時節ニヨリ。陽分陰分ノ分別  
 ヲ以テ。熱ヨリ起ルカ。寒ヨリ起  
 カノ事ヲヨクク辨ヘキ也。  
 次ニ病者ハサガレキカ。シヅカナル  
 カ。身アツカイユルヤカナルカト問テ。  
 身アツカイ騒キト云ハ。熱ト心得。又  
 シヅカナルト云ハ。虛ニタル病ト心得ヘ

シ。身ハホメクベシ。是ハ虛熱カ。實熱カ  
 ノ分別ヲスヘキナリ  
 △病者ハグラキ處ヲ好ムカ。嘔キ處  
 ヲ好ムカト問ベシ。昏キ處ヲ好ムト  
 云ハ。臟ニ病アリト心得。明キヲ好  
 ムハ。腑ニ病アリト知ベシ  
 △吞物食物ヲバアツキヲ好カ。又ハ  
 ツメタキヲ好カ。冷水ヲ吞カト問  
 テ。アツキヲ好ムハ。底冷テ血虛シ  
 タル病トシルベシ。冷水ヲ好ムハ。外  
 邪入裡ソコ熱シタルト心得ベシ。  
 是モ何レニ熱スベシ。此身ヲ客熱トス。  
 △次ニ病者ノ色ヲ見テ。其色ニヨリテ。  
 五臟ニ付テ。病ノ在処ヲ分別セヨ。

サテ脈ヲ見テ三部九候ノ分別  
アルベシ。是右ニ云。望聞問切ノ法  
也能ハ簡辦アルベシ

△醫聖子發明曰夫百病晝ハ甚シク  
夜ハ靜成ハ。是陽ノ有余ナリ

△百病夜ハ甚ク晝靜ナルハ是陰ノ  
有余也。則血ハ病テ氣ハ病サル也

△百病晝ハ發熱シ夜ハ醒ルハ是陽  
氣自陽分ニ旺スルノ病也

△百病夜ハソノ口寒ク晝ハ意ヨキ。  
是陰血自陰分ニ旺スル病也

△百病晝ハ醒テ靜ニシテ。夜ハ發熱  
煩燥スルハ。是陽氣降リテ。陰中ニ  
ラチイタル。是熱血室ニ入ト云

△百病夜ハ心ヨクシテ。ヒルハ甚ソノ口  
寒キハ。是陰氣上リ。アフレテ。陽ヲ  
宥カスナリ

△百病夜晝トモニソノ口寒クハ重  
陰ニシテ陽ナレ。スミヤカニ其陰ヲ  
瀉シ。急ニ其陽ヲ補フベシ

△百病晝夜トモニ發熱煩躁スルハ。  
是重陽ニシテ。陰ナレ。スミヤカニ其  
陽ヲ瀉シ。急ニ其陰ヲ補フベシ

右諸病ヲ治スルニ。脈ヲ辨ヘ病ヲ  
明メ。ナラ其止ニ此血氣陰陽ノ分  
別ヲ詳ニセバ。治セズト云事ナレ

△臈氣法時論曰肝病ハ平且ハ靜ニテ  
申ノ刻ハ甚ク。夜半ニ又靜ナリ

△心病ハ日中ニ意ヨク夜半ニ甚ク  
平旦ニ又レツカナルベシ

△脾病ハ戌ノ刻ニ心ヨク日ノ出ニ  
甚ク申ノ刻ニ又レツカナリ

△肺病ハ申酉ノ刻ニ心ヨク日中ニ甚  
ク夜半ニレツカナリ

△腎病ハ夜半ニ心ヨク丑未辰戌ノ  
刻ニ甚ク申ノ刻ニレツカナリ

右是相生相克ノコトハリ也

△又曰肝病ハ丙丁ニイユ丙丁ニイエ  
サレ庚辛ニツヨシ庚辛ニ死セザレ

バ壬癸ヲタモツテ卯辰ニ起ベシ  
△心病ハ戌巳ニイユ戌巳ニエサレバ壬  
癸ニツヨシ壬癸ニ死セザレバ甲乙ヲ

タモキ丙丁ニ起ベシ

△脾病ハ庚辛ニイユ庚辛ニイエサレバ  
甲乙ニツヨシ甲乙ニ死セザレバ丙

丁ヲタモキ戌巳ニラクベシ  
△肺病ハ壬癸ニイユ壬癸ニイエサレバ

丙丁ニツヨシ丙丁ニ死サレバ戌辛  
ヲタモキ庚辛ニラクベシ

△腎病ハ甲乙ニイユ甲乙ニイエサレ  
バ戌巳ニツヨシ戌巳ニ死サレバ庚辛

ヲタモキ壬癸ニラクベシ  
△又曰肝病ハ夏イユ子ノ火親ノ賊

邪ノ金ヲ制スル故也夏イエサレ  
バ秋ニ甚レ子ノ火休メ賊邪ノ金  
秋ハ旺スル故也秋死サレバ冬ヲ

タモツ。賊邪ノ金休。母ノ水腫スル  
故ニ春ニテリテラク。肝木自其位ヲ  
ウル。故ニウクル也。

右此肝病ニ餘藏ノ病ナゾスヘシ

○醫者病家ニ出入ノ法

△凡醫者イマダ病家ニ入ズレテ先  
ロラス、キ手ヲ洗ヒ。天ニアライテ  
祝スベシ。門ノマン中ノ通ニ立ヘカ  
ラス。坐スル時壁ニヨリカ、ラス臥  
時ヲビヲトクベカラス。衣裳ヲロソ  
上ニテ覆フベカラス。婦事ノ念ヲ  
オコスベカラス。貪欲ノ心ヲ生スベ  
カラス。慧心ヲ生ズベカラス。飲食ア  
ラハ必ハカユキニ食セズイキニテ。フ

イテ。其後册ユベシ。行事アラハ歩  
ヲレツカニスベシ。初テ告来ルノ  
時アハタ、レクトモ。其病上ヲ問  
極ムベシ。行事ノ緩急其品ニシタ  
ガフベシ。古語曰。醫者不入於刑官  
之家。藥者不療於不仁之病。ト云  
然レバ刑戮ヲ專トシ。慈悲ノ心ノ  
ナキ者ニハ。天道ヨリ大病ヲツカ  
ラ來ル。故ニ醫者出入スヘカラス。藥  
モ又因果ヲ以テ生スル病ヲハ治ス  
ル。一ヲユルサズ。

○諸病ノ應候

△凡病者足ノ甲。是ノ裏腫。身重ク  
大便タモタス。眼ハ腫ヲ轉シ身ノ

悪クサキハ皆死証ナリ。マカブラ  
ヲチ入目鼻其以黒ク愈々ノタ  
ハ言云イ。又一向ニ物イハス。口ノ  
マクレイルハ危シ。又久病ニ兩  
頬赤キハ内シ。口ヲアキハリ息ス  
クニ足膝ハレフク。身體ハレテ小  
便イテ。面ハ赤ク。眼ハ白ク。面青ク  
目黄ク。眼ニ光ナク。面先青クシテ。  
後ニ黒ク。齒莖黒ク。鼻ノ下人中  
アトナク。唇青ク。身冷シ。ヒリイ分  
シ。衣ヲ摩。床ヲ搜リ。食事ヲ見テ  
ウシロムキ。髪スク。三麻ノ如ク。ウナジ  
ノ筋ノビ。手ノ中ニ皺ナク。手足ノ爪  
青ク。黒背骨。ヒイラキ。腰痛。三面

黒ク目白シ唇コガレ腫テ黒シ

右此病証多クハ死証也

○五藏ノ絶症

肝絶メハ面腫青黒ク舌一カガリ靨

手足ノ力弱ク目ニ涙多シ

心絶メハ面ツレニ黒ク肩ニ息シ

目見張手ノ中皺ナクタハコトツキ

脾絶メハ臍腫足ノ甲腫面青腫大使

下ヲ不知肌ニブリ唇ソル

肺絶メハ口鼻ヨリ息出テカヘラス唇

ソリ。皺ナク。皮毛コガレ爪カル

腎絶メハ面黒ク齒痛三日シイ汗出

ル。木ノ如ク腰ヲレ皮肉ヤハラカニ

髪カルナリ。巴上久病ニ此証  
アレバ必ス死スヘキ也

心ノ實ハ脉サカシ也。心ノ虚ハ脉細キ也。  
肺ノ實ハ皮熱也。肺ノ虚ハ皮寒也。  
脾ノ實ハ腹フル也。脾ノ虚ハ飲食不納也。  
腎ノ實ハ二便通也。腎ノ虚ハ二便不通也。  
肝ノ實ハ目暗也。肝ノ虚ハ鼻息少也。  
右五藏ノ實。寃若藥ニテ二便漸通  
ニテ。腹和クハ生ベシ。五藏ノ虚。寃若藥  
ニテ。少シ食事モヲサマリ。二便モ漸  
トニニラハ生ベシ。

○諸病胃ノ氣ノ多ノ事

夫藥ニテ病ヲ治スルニ其藥忽スクニ  
病ノ処ニ行事ナシ先胃ニ入テ變化  
ノ漸ク病ノ処ニ行タトハ病ヲ見分  
脉ヲトリ明メ必効ノ藥ヲ與フルニ

効ナキハ胃ノ氣虚ノ藥ガ運化  
セズ。徒ニ二便トナリ下ルベシ。其時  
ハ本病ヲ閣キテ。胃ノ氣ヲ調ヘテ。  
本病ハ減セスト云トモ少食事ノ心  
有バ倍ハ胃ニ力出來リト心得テ  
本病ノ藥ヲ用ユベシ。其ニモ胃ヲタ  
スクル藥ヲ少加フベシ。

○兩腎ニ補ノ分別

左ノ腎ハ水ニ屬シ。右ノ腎ハ火ニ屬  
スル故ニ腎虚スレバ水スタクナリ。  
身ノ内燥ク命門虚ノハ下焦ノ陽  
氣衰ヘ小便タモチカタク精氣漏レ  
易ニ然レバ世ニ房事ツレニ食事ヲ  
スタタシナム者ハミナリ故ニ精血方ケ



損ニ相火タカブリ旺ニテ<sup>虚損</sup>勞瘵<sup>勞瘵</sup>  
嗽血等ハ發ル故ニ丹溪ハ補陰ノ説ヲ  
アガメ左腎ノ水ヲ補フ古方ノ補藥  
多ハ右腎ノ相火ヲ補フ但世人ノ病  
火旺ニタル者十人ニ九人アリ火衰  
ノ病百人ニ二三三人モナレ

○倉公三死ノ説

史記百一卷列傳曰淳于意  
字ハ倉公扁鵲同時ノ人也

病ニ藥ヲ服スルコトヲウテガハサル  
ハ是レノ死証也

巫ヲ信メ醫ヲ信セサルハ二ノ死也  
身ヲ輕メ命ヲウスケ敬メサルハ是  
二ノ死証也

如此ノ輩ハ証テ藥ヲ與ヘ療治スト云

上モ効ヲ得ガタシ

○未病ヲ治スルノ説

言クツレニ<sup>未病</sup>飲食ヲ節ニシ<sup>風寒</sup>ヲ  
防ギ<sup>形</sup>ヲ勞セズ心ヲツクサズ房事  
ヲ遠サズ右是ヲ未病ヲ治スルノ大  
道也丹溪云病有テ後治療セシ  
ヨリハ政テ病ナキヲ攝養センニハ  
シカレト又肝ノ病ヲ見テ脾ニツタ  
ヘシコトヲ知テアラカシメ脾ヲ健ニス  
是モ未病ヲ治スルノ一通也委ハ内  
經陰陽應象大論ニ見ヘタ

○六失ノ論

醫ヲ信セサルニ失シ療治ノ遲キニ  
失シ醫ヲ擇ハサルニ失シ已上三

病者ノ失也。○病ヲ知ラザルニ失  
シ。藥ヲ知ラサルニ失シ。詳ニナラサ  
ルニ失ス。已上三八醫者ノ失ナリ  
右六失ハ本草細目ニ見ヘタヤ

○養生ノ論

衍義云、養生ノ道多シト云凡約ニ  
シテ是ヲ云ニ其術ニアリ  
一、神ヲ養フニ氣ヲ慎ミ、二、防病  
○神ヲ養上云ハ智慧ヲサリ、貪欲ヲ  
減シ七情ヲ忘レ、諸事ヲステ、恬  
澹無ニ、真ヲ全クスルヲ云ナリ  
○氣ヲ慎ムトハ元氣ヲタモチ、精ヲ  
瀦サス、眼耳鼻舌身意ヲ悉忌レ  
識界ヲムナレクスルヲ云也

○病ヲ防グトハ、飲食ヲ節テ、濕涼ニ  
カナイ、四時ニ至ニ分イ入節ニ、虛邪  
賊風ヲツクシ、ミレイテ、寢レテ、醒ヘ  
カラス、已上各イカニモタヤスク行ヒ安  
ナレトモ、世ニ行フ者希也

○稽康カ云、穠年ニ病多シ、飢年ニ  
ハ疾少シト、寔ナル哉、偽月ナクス  
関中土地ノ俗ハ、方トモシキ、依テ  
食ノ味薄ク、其人病少ク、命長シ  
江南嶺表ハ、諸事ユタカニ充満シ  
テ、山海ノ珍物具ラスト、云々ナ  
シ、故ニ其人疾多シテ、早死ス、遊  
官シテ、彼ニ至ル者ユタカナルニツイ  
テ、口ヲ慾ニシテ、病ヲ生ス

私云近代飢年二疫癘疫癘ス  
右此論違フト云凡天下依二鐘  
飽ヲ苦是天地ノ氣循環止サ  
二依テ七情勞倦レテ外邪ヲ  
ソハルナルベレ元氣ヲツヨクセハ時  
疫癘疹ノ時花物ハ遁ルベレ然ハ  
累年ノ飢ニハアラサル一歟  
右云二種テ食事ヲツシムヘシ古語  
曰病ハ口ヨリ入穢ハ口ヨリ出ルト  
道林カ云食スル時語ルヘカラス語レバ  
胸背共ニ痛ム卧テ多言笑フヘカ  
ス五臟ハ鐘ノ如シ不懸トキハ声ヲ  
發スヘカラス行トキ語ヘカラス若讀  
足ヲトムベシ語ナカラ行ハ氣ヲ失ス

朝トクヲキタラバヨキ事云ベシ晨  
ニ空腹ヲ饑ヲカソヘカラス食事  
ハ少ツ細々用ユヘシ頓ニ多用ハ  
消シカタシ食スルゴトニ諸肉ヲ重  
用ユヘカラスヨク飯ヲ食シテ野菜  
ヲ少ク用ユヘシ然ラサレハ百病ヲ生  
飽滿シテ即卧ハ消スレテ積聚  
トナル食ニ終ラバ手ニテ面ト腹トヲ  
サスル津液流通ス暮ニ卧時常ニチ  
ラヒテ口ヲトツヘシ口ヲ開ハ氣ヲ失  
邪惡入久シクノ消渴トナル又  
奄ヲ失ス唾ヲ遠ク吐ヘカラス手足  
ヲモク背痛ハウエタル時ハ跪テ小  
便ス飽滿ノ時ハ立テ小便スレシ是

ツ、レハ無病也飽滿ニテ髪ヲ濯  
ヘカラス飢テ湯ヲアフル事ナカレ冬  
至ノヨリ人來テ開テ有ハ谷ニ自物  
ヲ云ヘカラス常ニ不足ナリトモ是  
ヘカラス若不足ナル心ヲコルトモ是  
ヲオサヘヨ人トシ足事ヲ知レバ天道  
ヨリ其稔ヲククルナリ。康桑楚  
云聖人声能滋味ニヲケル。性ニ  
刑アル時ハ是ヲトリ。性ニ害アル時  
ハ是ヲスツ是全性ノ道ナリ。  
○至機微義云六月八未ニ属ス土  
大ニ旺ス土旺スル時ハ水ニ衰フ又腎  
水ノ母歸金也腎水ノ不足ヲハ  
肺金是ヲ補助ス故ニ古人ハ五六

月極宿淡味金水ノ二儀ハ人上旺ス  
ルヲキラフ心脾也。又十月ハ亥ニ属  
シ霜月ハ子ニ属ス陽氣トチカク  
ニテ真元ヲ養フ未春發生スベキ  
モトヲナス此時房事ヲ慎ニ元精  
ヲ損ハサル根本盛シテ氣カク  
シクウカハスイツクシテ温熱ノ病有シ  
○暮テハ努ム飽滿スルヲナカレ湯  
ニヒ髪アラヒ風ニ當ルヲナカレ燈火  
ヲカケテ淫事ヲカスヲナカレ  
脚終テ燈火ヲトムヘカラス

○五藏ノ補瀉

肝ハヒキツルヲ苦ム甘草ニテユ  
ルクセヨ若散セント欲セハ川芎ニテ

散世ヨ。細辛ニテ補へ。芍薬ニテ瀉

世ヨ

△心ハユルキ事ヲ苦ム。五味子ニテ補

ヨ。若輒ナラシムラ欲せハ芒硝

以テヤハラチヨ。沢瀉ニテ補ヒ人

参ニテ瀉スヘシ

△脾ハ湿ヲ苦ム。白朮ニテ乾ス。ユルヤカ

ナラシムラ欲せハ草艸ニテユルクス。

人参ニテ補ヒ。黄連ニテ瀉ス

△肺ハ氣ノ逆上スルヲ苦ム。黄芩

ニテ下ス。モレ。納シムラ欲せハ芍薬

ニテ納ヨ。五味子ニテ補ヒ。桑白皮

ヲ以テ瀉スヘシ

△腎ハカクヲ苦ム。知母。黄柏ニテ

潤ス。若カタカラシムラ欲せハ知母ニ

テカタメヨ。黄柏ニテ補フ。沢瀉ヲ

以テ。是ヲ瀉スヘシ

○麻府ノ火ヲ瀉スル藥種

△黄連ハ心火ヲ瀉ス。木通ハ小腸ノ火

ヲ瀉ス。山梔子。黄芩ハ肺ノ火ヲ瀉

ス。○黄連。黄芩ハ太陽ノ火ヲ瀉ス。

○柴胡ハ肝ノ火ヲ瀉ス。○柴胡。黄

連ハ膽ノ火ヲ瀉ス。○白芍薬ハ脾ノ

火ヲ瀉ス。○石膏ハ胃火ヲ瀉ス。知母ハ

腎ノ火ヲ瀉ス。○黄柏ハ膀胱ノ火ヲ瀉

ス。○柴胡ハ三焦ノ火ヲ瀉ス

○十劑ノ事

△宜通補瀉經重滑澁燥湿也

▲宜ハ壅ヲ去ヘシ生薑橘皮ノ屬也  
 ▲通ハ滯ヲ去ヘシ木通防己ノ屬是也  
 ▲補ハ弱キヲ去ヘシ人參羊肉ノ屬是也  
 ▲瀉ハ閉クヲ去ヘシ葶藶大黃ノ屬是也  
 ▲輕ハ寒ヲ去ヘシ麻黃葛根ノ屬是也  
 ▲重ハ怯ルヲ去ヘシ磁石鐵漿ノ屬是也  
 ▲滑ハ著ヲ去ベシ冬葵子榆白皮ノ屬也  
 ▲澀ハ脫ヲ去ヘシ牡蠣龍骨ノ屬是也  
 ▲燥ハ濕ヲ去ヘシ桑白皮赤小豆ノ屬也  
 ▲濕ハ枯ルヲ去ヘシ白石英紫石英ノ屬也  
 ▲寒ハ熱ヲ去ヘシ大黃朴硝ノ屬也  
 ▲熱ハ寒ヲ去ヘシ附子官桂ノ屬也

○五味ノ用

▲苦キハ瀉ス酸キハ收ム辛キハ散ス

軟ク甘キハ緩クシ發ス

○食前後服藥ノ分別

▲病上焦ニアラハ食事ヲ先ニ藥ヲ後ニスベシ

▲病中焦ニアラハ藥ヲ先ニ食事ヲ後ニスベシ

▲病下ニアラハ藥ヲ少ツク頻數ク用

▲病下ニアラハ藥ノ間遠ク二度ニ多用

▲右食前食後トアレバトテツケテ

▲用ユベカラズ食氣消シテ藥ヲ用ヨ

▲氣散ジテ食事ヲスメヨ病手足ノ

▲血脉ニアラハ朝空腹ニ藥ヲ用ユベシ

▲病骨髓ニアラハ夜中飽滿ノ上ニ藥

▲ヲ用ユベシ

○藥氣藥味ノ分別

△藥氣厚キハ陽中ノ陽也。其能ハ發熱ス。辛甘キハ温熱ノ類也。

△藥氣薄キハ陽中ノ陰也。其能ハ發泄ス。辛苦キハ平寒ノ類也。

△藥味厚キハ陰中ノ陽也。其能ハ泄ス。酸苦鹹ハ寒ノ類也。

△藥味薄キハ陰中ノ陰也。其能ハ酸苦鹹ニ平ノ類也。

氣ハ天ノ陽ナリ清タリ。故ニ上ニシテシクニテ升ラシテ發スル也。

味ハ地ノ陰ヨリウケタリ。故ニ下ニシテシクニテ下ラシテ發スル也。人ノ神氣ハ陽ヨリ請タリ。故ニ神氣ノ虛ニ

タルヲハ藥氣ニテ專治スヘシ。人ノ形陰ヨリ請タリ。故ニ形ヲトクタル人ヲハ專藥味ニテ可治ス。

○生熟ノ分別

△頭面及手足ノスエ皮膚ノ病ヲ治スルニ黃芩。黃連。黃蘗。知母ノ類ヲ用ニハ酒カヲカルベシ。

△下焦ヲ治シ。裏ヲ治スルニ生ニテ用ユベシ。大黃ハ大便結スル用藥也。胃氣弱キ人ニハ酒ヲソシキ。ソイノ用ユベシ。知母。地黃ハ下部ノ用藥。虛人久病ナトニハ。胃ノ氣ヲタシナム。故ニ酒ノカヲカル也。右諸病ヲ治スルニハ。此生熟ノ別習テ意得ヘシ。

○藥根三停ノ分別

△苗ヲ生ズル処ヲ根ト云。上焦ニユキ。尿  
上ニユク。尾サキノ方ヲ梢ト云。下焦ニ  
ユキ。尿ノ下ニユク。根ト梢トノ間ヲ身  
ト云。中焦ニユク也。右用藥ノ時。當  
歸。防風ノ類ニ根ヲ用。尾ヲ用ト云ハ  
是也

○湯丸散ノ論

△煎藥ニ酒ヲ加ルハ至高ニ至ラシメシ  
ノ意也。始ヨリ入レハ藥ノ味アレクナル  
也。煎ジテ後ニ入ルナリ  
△生薑ヲ入ルハ濕氣ヲサラシガタメ也  
△棗ヲ入ルハ元氣ヲ補ハシガタメナリ  
△葱ノ白ミヲ入ルハ風寒ヲ發散ス也

△小便ノ尿ヲソユルハ上焦ノ火ヲク

クサシガタメ也。醫書ニ童便ト有

△散藥ハ風冷ヲ散スル心也。腹中

ニ至シサキニ口中。咽喉ノ間ノ氣

ヲ散メ。後内腹ニ納シメシガ爲也。

若手足ノ病久クナラヌ表裏ニ

ウツリ趨ハ散藥ヲ以テ是ヲ平ク

下焦ヲ治スル散藥ナラハ鹽湯ニテ

用ヨ。方中散藥ノ処ニ。刀圭トアラ

ハ方寸ニスクヒノ事也。惣シテ唐ニ

一兩トアルハ。和ノ十錢自ナリ

△丸ハ緩也トテ。積聚癥瘕万ノカク

マリ痛ヲユルクトスル意也。其病

ノ在処ニ至リテ。ユルクトケテ効有



上焦ノ丸藥ハイカニモ少ク丸テヨシ。  
下焦ノ丸藥ハ大ニ丸メテヨシ。中焦ノ  
丸藥ハ中ホトニ丸テ用ユベシ。調糊ハ  
イカニモ強キ糊ナリ。遅クトロカシテ。  
下焦ニイタラシメンノ意ナリ。糊ヲ酒  
ニテ子ルコト。升散サセシメンノ用也。  
蜜丸ノ意ハ諸藥ヲ調和シ中ヲ補  
ヒ。脾ヲトメシメン爲也。○酸糊ハ收斂  
サセシメン爲也。○黃蠟ニテ藥ヲ丸ス  
ル意ハ腹中ニテトロケ難カラシメン  
爲也。タトエハ毒アルノ藥ニテ。下焦  
ノ病ヲ治スルニ蜜ニテカ。糊ニテカ。  
丸スルハ病ノ有処ニテ至ラズシテ。  
サキニ上焦中焦ノワサハヒヲナス故ニ

黄蠟ニテ丸スル也。○姜汁ニテ糊  
ヲ子ヤス意ハ湿ヲサラン爲也。又ハ  
半復ノ毒ヲ消セシメンノ故也。

○煎藥生熟ノ分別

△夫急病ヲ治スル瀉下發散ノ藥ハ。  
一包ニ水一升入タラハ七分バカリニ煎  
テ用ユベシ。藥性ヲサノミ。子リヤワラ  
ケシトノ意也。中ヲアタメ。下焦ヲ補  
藥ヲ煎スルニハ一包ニ水一升五合バ  
カリ入テ七分ホドニ煎ジツメテ用ユ  
ベシ。藥性ヲヨク子リ熟センタメナリ。  
藥ヲ少シク用シバ消下シ安シ。  
又ハチレハ胸ニアタリ。カラエツキヲナ  
ス。方ノ藥ヲ煎ジ。藥ヲ水飛シ眼ヲ

洗フ水ナドニハ必井華水ヲ用テ  
ニ。曉イマダ濃サルサキノ。下番ノ一  
クミタル水也

○服藥ノ間ノ食法

△夫煎藥ヲ用テ病ヲ療治セシニハ  
其間ノ粥。飯。及野菜イカニモ軟カ  
ニ煮過シテ用ヨ。ナニシテハ藥性  
ヲ損ズ。又滑シガタケレバ胃氣ヲ苦  
シムル。又其間ハ塩。醋ヲウスクレ  
鳥野菜ヲ常ヨリモスクナク用ユヘ  
シ。又心ヲツクサズカヲ勞スヘカラス。  
服藥ノ間ハ只專ニ藥ガヲ知トスニ

○六陳

△狼毒。吳茱萸。半夏。橘皮。枳實

麻黃 已上六種イカニモフルキヲ用。  
藥性強クテ毒アル也

○八新

△紫蘇。薄荷。菊花。桃花。赤小豆  
槐花。澤蘭。疑冬花

已上陳キヲ用サレ

○十八反

△芍藥。苦參。人參。沙參。玄參。細辛

右六種藜芦ト相反ス

△半夏。瓜蒌。貝母。白及。白欬

右五種烏頭ト相反ス

△大戟。芫花。海藻。甘草

右四種芫州ト相反ス

已上此ヲ十八反ト稱ス誤用ルテ無シ

銅鉄ヲ禁ルノ藥

○鬱蒲 龍膽 茜根 桔樓 五味子  
 麻黃 芍藥 知母 牡丹 香附子  
 藜蘆 商陸 櫻花 皂莢 石榴皮  
 雷丸 猪苓 疾藜 葶藶 桑寄生  
 樗子 已上鐵器ヲイム  
 ○地黃 玄參 益母州 肉豆蔻  
 已上四種ハ銅鉄共ニイム  
 ○辰砂 雄黃 已上二種ハ銅ハカク忌  
 ○禁火之藥味  
 ○青黛 犀角 茵陳 蒿根 羚羊角  
 柴胡 木香 雲母 芒消 禹餘糧  
 鍾乳 朴消 滑石 雄黃 香白芷  
 菊花 川芎 藍葉 甘松 赤石脂

桂心 日子 乳香 白檀 藿香  
 檀香 胡椒 已上火ヲイム藥ナリ。  
 火ニアツレハ人ヲ殺モアリ。又用レ  
 トモ効ヲ得ルナレ誤ルヘカス

五藏寒熱ノ藥味

△肺ノ寒ニハ干姜 半夏 紫苑  
 同熱スルニハ貝母 車前 木通  
 △心ノ寒ニハ遠志 石菖 茯苓  
 同熱スルニハ麥門 黃連 生地黃  
 △肝ノ寒ニハ細辛 阿膠 菊花  
 同熱スルニハ山梔 地床 決明子  
 △脾ノ寒ニハ木香 枳殼 丁子  
 同熱スルニハ柴胡 枳殼 人參

腎ノ寒ニハ杜仲 鹿茸 虎骨 鹿子

同熱スルニハ沢瀉 草薢 石斛

凡藥味調合ノ指南様々在之中

二七考へ知ベキハ一君二臣三佐五

使ト云テ有世間流布ノ諸書ニ

委シ尤藥性能毒詳ニシ給スベシ

○諸灸捷哥

△懸重ク頭痛目ニハリカナク肝門

出ハ百會灸セヨ

○百會トハ二ツノニユノニ中ク

スヨリ上ノ八寸ニアリ

△咳逆シ喘氣ヲシツ、咽モナリ。胸ニ

氣セカハ天突ノ穴

○天突ハ咽ナル高キ骨ヨリモ

三寸下ヲアヲノケテトレ

△曲池ヨリ二寸手サキハ三里ニテ

ヒチヲ上レハクホミ有ベシ

○曲池トハ肘ノ節ノヲヒカミ

△腹モハリ脇ニ積アリ足タルク痺氣

ニ瘦ハ章門ノ穴

○章門ハツバサニラレ上足ヲ

カメテ下スルニテサスナリ

△胸ノクレムセケモアリテ食事サへ

降ラヌ人ハ乳根ノ穴

○乳根ハ乳ヨリ一寸六分シモ

クホメル処アラフケテサセ

△腹堅ク上ノ氣嘔血痲積ト産後ノ

惡露ヒエハ石門

○石門ハ臍ヨリ二寸下ニアリ

婦人ニハイメハラムトナリ

△水腫ニテ臍ノマハリモ腫痛ニ胸葉

腹モ鳴ハ水分

○オカハ臍ヨリ上ソ一寸ソ  
七ツウヨリハセヌ穴トキク

臍ツカハ咳逆上氣喘嗽ハ花蓋ノ穴ニ  
レクフソナキ

○花蓋トハ胸ナル高キ骨ヨリモ  
五寸下ナリアツクケテトシ

△胸ツカハ咳逆短氣咽モナリ。乳ノタラ  
サルハ臍中ノ穴

○臍中ハ兩ノ乳ノアイニ中ゾ  
氣ツモリカハキムヌルニモヨシ

△嘔血レム子脚ツカハ痛ミナリ。霍乱  
吐利ハ巨關ナルベシ

○巨關ハ鳩尾ノ穴ノ下ヨリモ  
一寸ニアリセツウヲセヨ

△腹ノ内ヒキツリ痛ミ不食シテ。腸ノ  
積ニ不容ナルベシ

○不容トハキウビンノ下ノ一寸ニ  
墨ヲ点ジテ腸ヘ一寸

△身モ寒ク又ハアツクテ心ホレブルヒラ

病ハ陰都ナルベシ

○陰都トハキウビンノ下ノ一寸ニ  
墨ヲ点ジテワキヘ一寸

△唾ハキ。大便ケツレハラマズレ。瘀血痛

ハ石關ヲセヨ

○石關ハキウビンノ下ノ一寸ソ  
ワキヘ五分ノ下ヘ一寸

△積ニハレ。胃ノ氣不足シ食ヲ吐キ

腹ヲ痛ハ足ノ三重ゾ

○三重トハ膝ヨリ下ノ三寸ゾ  
目ヲ明カニ氣ヲソメクラス

△不食シテ。腹脹腰膝痛ニ起

居ナラズハ懸鐘ノ穴

○懸鐘ハ足ノ外踝ノ上三寸  
縫骨陽希ヒツナリケリ

△腹フクレ。上氣レ喘ギ膈ノ氣ト

唾ニ血アル人ハ養滿

○養滿ハキウビンノ下ノ一寸ソ  
ワキヘ一寸下ノ一寸

△嘔吐シテ。口モユカニテ。アケビシテ  
俄ニ瘖トナラハ通谷

○通谷ハキウビノ下ノ一寸ノ  
ワキヘ五分ノ下ノ一寸

△悲ニテ。樂メレスシ。嘔ラ。ク。手。足。ヲ  
サシラザルハ。眩暈

○日月ハキウビノ下ノ一寸ノ  
ワキ一寸五分ノ下ノ一寸

△膝痛ニ。小便シテ。リ。身モヲモク  
足ヒエユカヌ。三陰ノ宛

○二陰ハ。内。外。上。二。寸  
骨ノ内。口。キ。ク。ホ。ミ。ニ。ツ。アル

△不食シテ。吐逆シ。ツバキ。ヨダレタシ  
膿血下ラハ。肉。門ノ宛

○肉門ハ。キウビノ下ノ一寸ノ  
ワキヘ一寸五分ノ下ノ一寸

△驚悸。痰痛スレハ。上。官

○上。腕ハ。キウビノ下ノ一寸ノ  
血ノ。心。人。ニ。三。寸。ツ。ラ。セ。ヨ

△手足ヒエ。積聚エ。ン。キ。テ。物。ク。ハ。ズ  
トガニ。堅。ク。ハ。中。極ノ宛

○中極ハ。臍。ヨリ。下ノ四寸ニテ  
小便利セヌ。人ハナラセヨ

△物クハ。ズ。タイ。テ。モ。又ハ。吐。逆。シ。臍ノ  
氣ア。ラ。バ。中。庭ノ宛

○中庭ハ。臍。中ノ下一寸ノ  
臍。背。臍。ケ。ニ。ハ。ツ。レ。ガ。ル。シ

△寒積上。尿ニ。血。ラ。シ。ホ。ガ。ニ。寒。疝  
氣。虚。冷ハ。關元ノ宛

○關元ハ。ホソヨリ。下ノ三寸ノ  
丹田ナレバ。虚ニハ。千。壯

△頭。三。寸。寒。ツ。痛。三。寸。白。ク。ホ。ヤ。目。ニ。イ  
顔。髪。腫。ハ。顛。會

○顛。會ハ。眉ノ。中。ヨリ。上。ハ  
五寸ナリ。ケリ。三。寸。ツ。ラ。セ。ヨ

△胸。膈。ヲ。滿。塞。リ。テ。息。ハ。ヤ。シ。咽。ナ。リ

エツキスルハ璇璣ノ

○璇璣トハ咽ノ骨ヨリ下四寸

△胸サギ。神氣ツカレテ癩癩ヤ。狂乱

スハ軌尾ナルベシ

○鳩尾トハ胸ノハツレノ軟骨ノ

△瘦ツカレ。手足モヨハク積堅ク。氣

逆上ハ氣海ナルベシ

○氣海上ハ臍ヨリ下ノ五分ナリ

△頭風ヤ三眩ノ文ハ皮モハレ見ノ顛

痺前頂ヲセヨ

○前頂ハムユノハ中ヨリ上へ

△疝氣ヤ三小腹モ痛三便シブリ。赤

白帶下交儀ナルベシ

○交儀トハ内股ノ上五寸

スニヨリ内へ五分ヨリテツ

△積臍ニ赤白帶ニ食滯ス面青クハ天

ラ好

○天樞ハホソノ廣サヲ一寸ニ

△五淋ヤ三尿モ黄也木腫溺白血赤

血ハ曲骨ノ宛

○曲骨ハ臍ヨリ下ノ五寸ナリ

△胸ヲクシ息タハレクテ食ニムセ皮膚

ノ痛ハ中府ナルベシ

○中府トハ咽ナル高キ骨ヨリモ

△腰重クタ之筋ツリ寝カヘニスノヒ

カハニスハ足ニコソアレ

○ヒツカガニヲレメノ兩ノハレニ有

△痲痛三起脚ナズクビ痛ニ子ハカレ

スハ大柿ナルベシ

△頭風ヤニ。目メクリ。血ヤニスレテス。  
△ナタラハ。風門ヲセヨ。

△咳唾血。肺痿。喘嗽。胸ヲクシ。寢ス食  
セス。寒ハ肺ノ愈。

△咳逆ヤ。嘔吐。胸塞。不食。シテ。腹滿  
イ子ス。胃ノ寒ハ肺。

△胸膈モ。サ。エテ。舌ノ強ルニモ。嘔吐不  
食ハ。臍ノユヲセヨ。

△氣短。イカリ。胸滿。弱ニ。エス。咳逆。嘔  
血。肝ノユヲセヨ。

△腹モ。ハリ。食事モ。有テ。手足。瘦。久  
ク。ホメキテ。ヨク。イ子。ハ。脾ヨ。

△脇。脇モ。寒テ。ツカ。テ。食事。ナク。瘦  
ヌト。只。テ。腹。ナル。ハ。胃ヨ。

△世ナ。痛。三。身熱。レ。腹。ニ。痛。ニアリ。

△腹。モ。強。キ。三。焦。

△強。瘵。マ。也。ナク。瘦。テ。腰。痛。三。起。臥

ナ。ラ。ス。積。ロ。エ。ハ。腎

△腰。セ。ナ。カ。脚。ク。重。テ。又。レ。ビ。レ。腹。痛。便

ノ。堅。キ。勝。臍。

右各一寸五分

△胸。背。ヒ。ト。ツ。ニ。痛。ミ。子。ジ。ム。カ。ズ。背。攣

盡。冷。魂。戸。ナル。ベシ

。魂。戸。ト。ハ。三。寸。ノ。下。皆。六。寸

△手。モ。足。モ。重。ク。火。氣。ニ。物。ク。ハ。ス。世。ナ。カ。腎

ハ。至。陽。ナル。ベシ

。至。陽。ト。ハ。第。七。ズ。イ。ノ。下。ニ。有

△癰。在。マ。ハ。シ。カ。ア。リ。キ。テ。猶。イ。カ。リ。見。ノ



在癰身柱ノ穴

。身柱ハ三ズイノ下ニ穴ツ  
是ヤニコトチリナナリナリ

△驚癰ヤ。巖走レツ、言ヲ、ク、目ニ分

ソラメスルハ筋縮

。筋縮ハ九ズイノ下ノ一穴ツ  
ウツクキテソレ五壯灸セヨ

△足蹶ク蹶モ重タク筋ツリテ。身ノ

カナワズハ委中ナルベシ

。委中トハ七ツカバミノ下チ兩筋ノ  
ニツノ骨ノアイクホニツ

△頭痛ヤミ。身ニ虚熱シテ愁アリ。日

ニゼフルタハ神道ヲセヨ

。神道ハ五推ノ下ノ一穴ツ  
物カナレクハ七ツウヲセヨ

△大癰ヤ。背モ、タヘ胸ツカヘ虚損ニ

ズハ、應瀆ヲ灸セヨ

。イキノ穴ハ六推ノ下右左  
皆六寸ソソ五ツウナルベシ

△俯仰せず。カタ胸背腰痛三氣ノ

上ハ神堂ヲセヨ

。神堂ハ五推ノ下ヲ兩方ヘ  
三寸ツツソ。五壯ナルベシ

△虚熱シテ。頭痛寒熱ヲコリヤミ

腰腹痛ハ命門ヲセヨ

。命門ハ十四ノ推ノ下ニアリ  
只一穴ソソ三ツウヲセヨ

△ソ、口寒久。胸膈脹リテ嘔吐シテ。

背痛クハ意舎ヲ灸セヨ

。イレヤハ是九ズイノ下ヲ右左  
三寸ツツソソセソウヲセヨ

△腰ケヤミ起フレナラズ便シズリ。悪

寒スルハ胞背ノ穴

。胞背ハ十九ノ推ノ右左  
三寸ツツソソ五壯ナルベシ

△頭重ク目ハリクタク風寒ヲ。ニ么  
人ニハ後項ナルベシ

○後項十八寸五分ノ中ヨリ上ニ  
九寸五分ノミヲクサセヨ

△脛ノ筋レビレ腰膝ヲモクセヒカバ

ニスハ兼山ノ穴

○セウサシハ内踝ノ上六寸  
ノレヨリ内ノ中ノカシ

△癩瘡ヤ邪氣ニラカサレ兎ノ痔秘灸

ノ三火ニシクフツナキ

○兩ノ手ノ太指ヲ下ニ押並  
此ト内トノカドヲ一処ニ

△風ホロシカイナモノビスカニラズ

細クカシテハ曲池ナルベシ

○曲池トハヒチノヲレメノ糸三也  
手クヒヲ胸ニ付テ七壯

△足ノ筋俄ニ痛ミヒキツリテゴブス

カマハ秘灸一壯

○内ノスチ痛ムハ内ノ踝ヨ  
外ヲ痛ムハ外ノクリフ

△足痛ミノヒカニラズ足堅ク膝上足

トカナハ又ハ巨虛

○巨虛ノ穴足ノ三里ノ下三寸  
骨ヨリノトノ大スチノ内

△モ膝モ腰尻ハキモ重クヒレビレ

スクミテカナハ又ハ風市

○風市々チテヒサノ外ナル筋ノア  
中指ノサキノトノクトコロヲ

△而氣ニ左右ヲカエヨ經乱枯アルクバ

題ノ陰躄

○陰躄ハ足ノ内踝ノ下ノキ  
糸三ニツアルニ此ヲ昔

○顛癩ハ旋毛ノ内風癩ハミ中ヨリ一寸有

解顛ハ臍ノ上下五分ツ乳ヲ吞ガル天突穴

○癩癩ハ皆惡疾ゾヤク昔鳩尾ノ下ノ寸ニアリ

○大癩ハ足ノ大指ノ其次ノ外ノ糸三ニ此ヲ昔

○癩眼ハ手ノ谷也大指ト次ノ糸三ヲモリ下

○水腫ニホソヨリ上ノ寸ヲ夏瘦ハキトクナル

○臍腫六疔ヨリ地ニテ立テトシ其ヲ背中ニテ方  
 ○急驚風ノヲニ中ヨリ上ニ七寸ナルヲセシタク宛  
 ○乳ノ穴中庭ノ穴ニ壯ノ實中ヨリ八寸ノ一寸  
 ○截目ノ手ノ大指ノ中ニ折目ノ内ノカニ壯  
 ○スバチハ脈ニ腦ノ風ナレハ眉ヨリ上ノ五寸額會  
 ○急喉風天突ノ穴ニ壯ノ骨ヨリ下ノ三寸  
 ○隕ハレ冠ノ崑崙三壯ノ内踝ノアトノ五寸目  
 ○臍肚ニ血滯シテ腹モ痛ニ百會方メ尾ヲ三壯  
 ○心不足五共オニテ物イ久五推ノ下ヲ左右五寸  
 ○痘疹ノ下ニ入バ大推ノ下ヲ左右二寸半ツ  
 ○水ノハ上推ノ下左右三寸ツツコレヤ陽剛  
 ○不食シテレカモ勞ニテテラ瘦ハ上推左右五寸

○尺寸ヲ定ル法

△男ハ左ノ女ハ右ノ手ノ中指ノ第二節  
 長ヲ折メト下ノ折メトノ間ヲ其人ノ  
 寸ニ寸ト定ル也折メニ内外アリ

頭指ノ方ヘ向ヒタル折メヲ可取ル無  
 各指ノ方ヘ向タルヲ取ヘカラス中指  
 ヲ屈メ取ル屈スルニ口傳アリ可如取

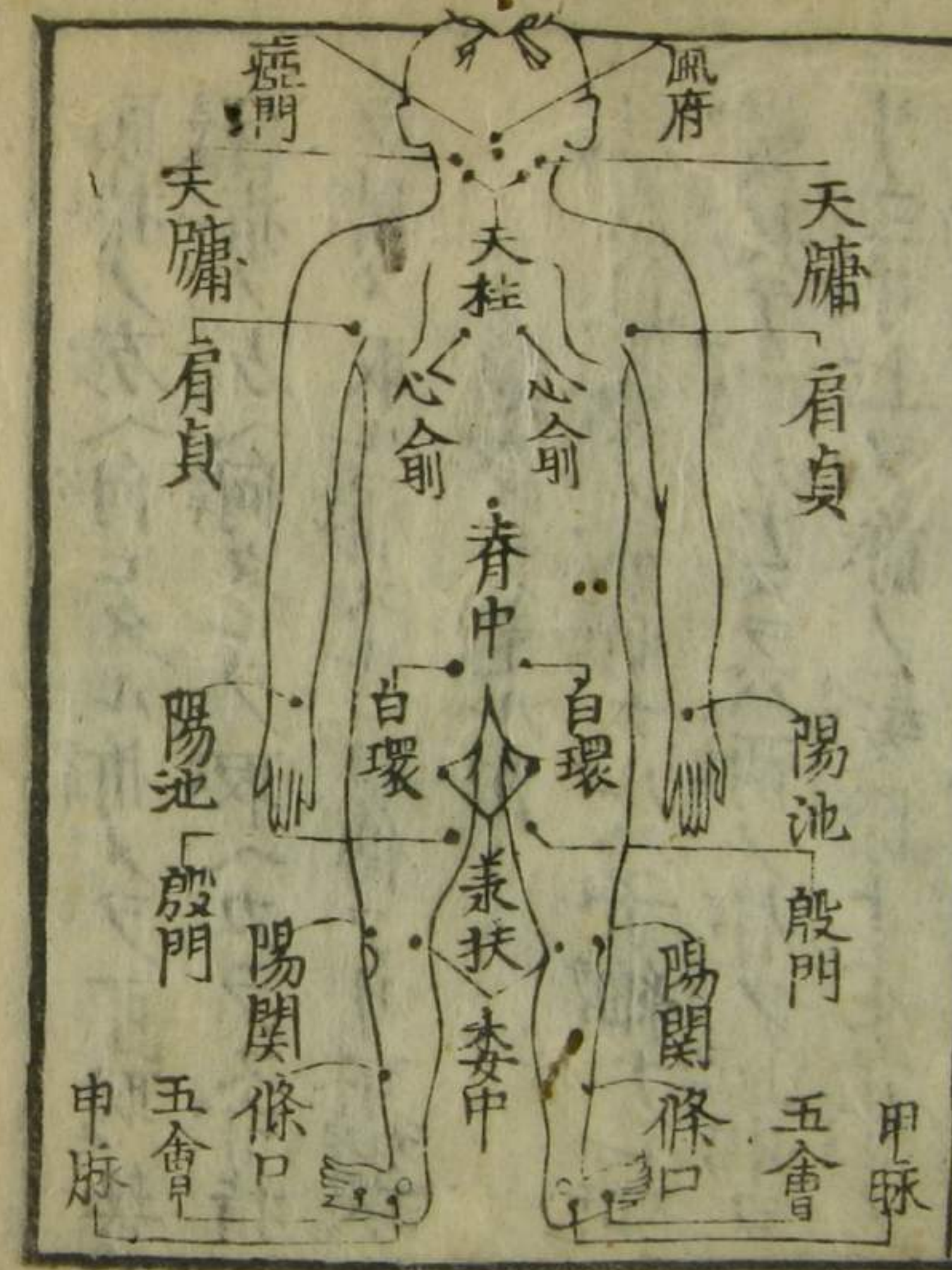
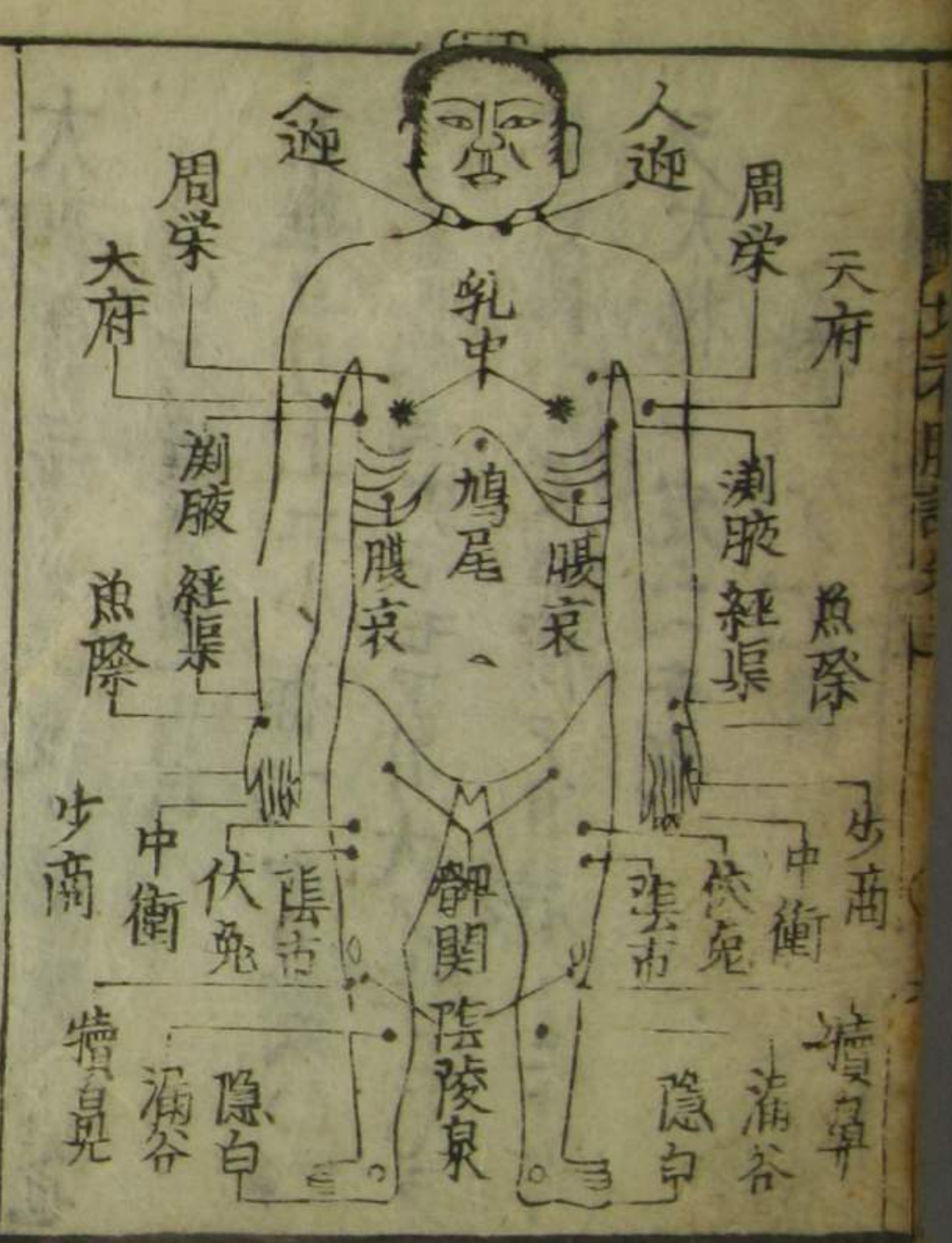
○髮際ヲ定ル法

△凡人ハ髮際ノ分明ナルハ子細ナレ如  
 髮抜テ明カナヌヲハ兩ノ眉ノ正中ヨ  
 リ三寸上ヲ前ノ髮際ト定ム背ノ  
 大推ヨリ三寸上ヲ後ノ髮際ト定也

○大推ヲ定ル法

△大推ヨリ上ニ小推一ツアリ或ハ二ツ  
 アリ又一ツモナキモアリ大ノ字ニ心ヲ  
 付テ取ヘレ又口傳アリ肩トヒトレキ  
 ヲ大推ト定ムヘキ也

○禁灸ノ穴圖



天和三癸  
亥曆晚春日

梅村彌右衛門

右禁灸凡寸四分八釐書二出此故  
畏之又血忌人神ノ日等ヲ禁ニ記スルニ及

